

かがわの里海づくり 県民参加型モニタリング

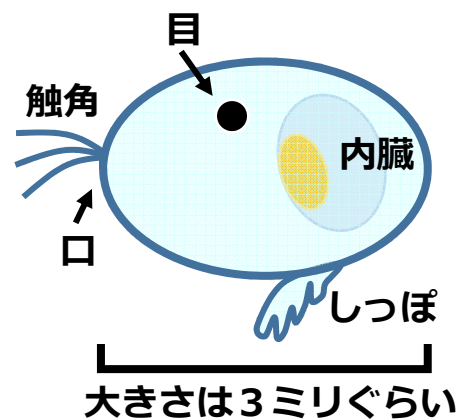
ウミホタルを捕まえよう！

波打ち際で光るウミホタル



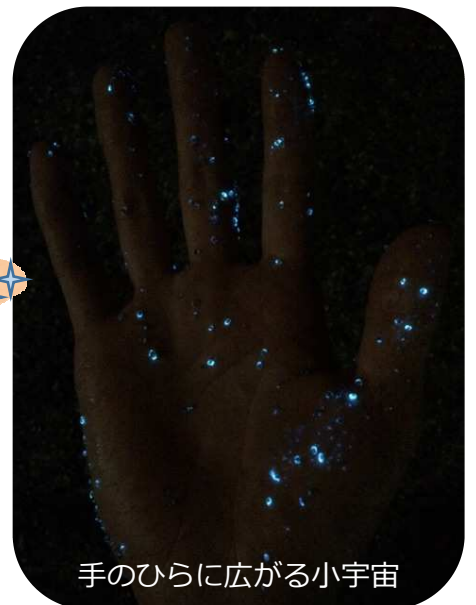
ウミホタルってなに？

ウミホタルはミジンコに似た小さな生き物で、きれいな砂浜などに住んでいます。主に死んだ魚などを食べる、海のそうじ屋さんです。危険を感じたり、刺激を受けると光ることが知られています。



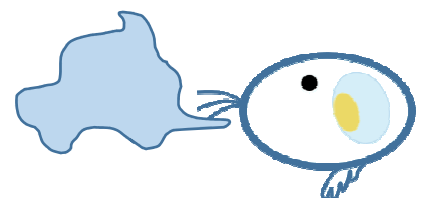
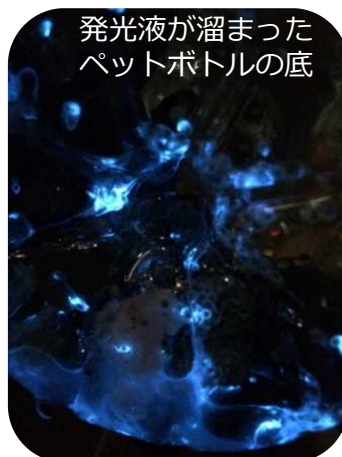
ウミホタルを光らせてみよう！

ウミホタルは刺激を受けると光る習性があります。捕まえたウミホタルを手のひらの上で光らせてみましょう。



どうやって光るの？

ウミホタルは刺激を受けると、口から液体を吐き出します。この液体が水と反応して青白く光ります。



ウミホタルを捕まえよう！

ウミホタルを捕まえるには、夜の海岸で採集容器を使います。暗くて危ないので、**必ず大人と一緒に行きましょう。**

捕まえ方

- ①ペットボトルの上部にカッターなどで穴をあけ、ひもを通します。
- ②ペットボトルの中に石とエサ（魚肉ソーセージなど）を入れて海に沈めます。
- ③10分経ったらゆっくり引き上げて、観察します。
- ④観察が終わったら、ウミホタルを海に帰してあげましょう。

ウミホタルのいるところ

- ・海底が砂や泥になっているところ
- ・潮の流れが速くないところ
- ・大きな川が近くにないないところ
- ・水深の浅すぎないところ

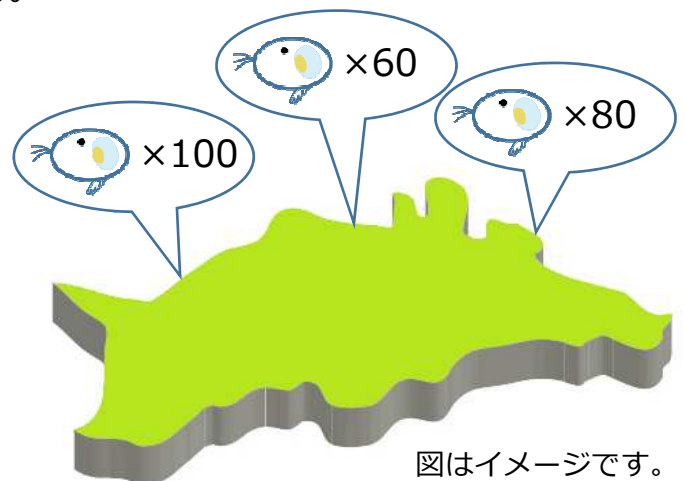
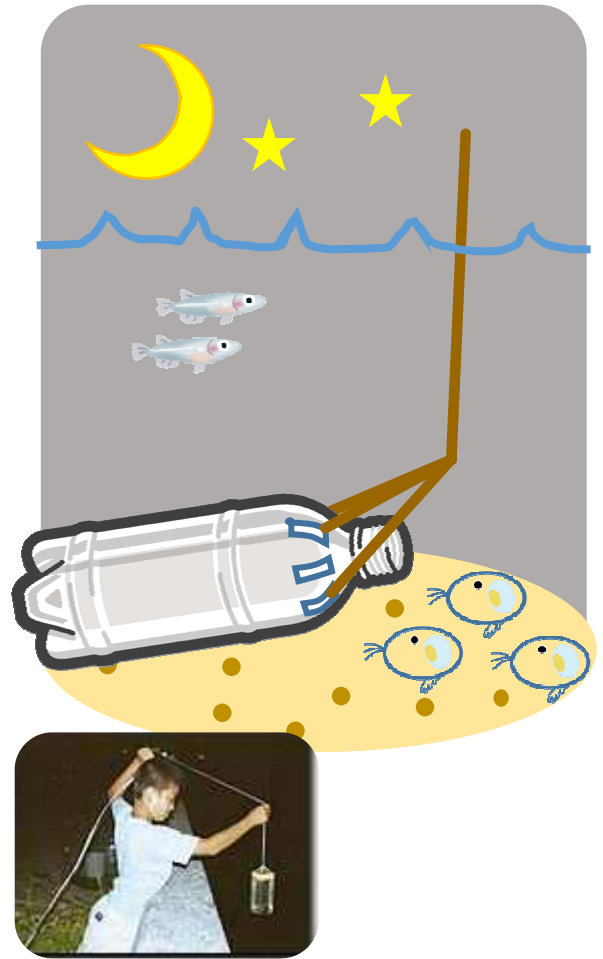
保護者の方へ

県民参加型調査でウミホタルの情報を共有しましょう！

「きれいな海の指標」とされるウミホタルは、水質の良い海岸の砂底に生息するベントス（底生生物）です。体長は3mmほどで、体は2枚の透明な背甲に包まれ、上唇にある分泌器官から発光液を吐き出します。昼間は砂に潜っていて、夜になると海底を活発に泳ぎます。

ウミホタルは、その発光する性質と採集が比較的簡単であるという理由から、観光資源や環境学習のテーマとして近年注目を集めていますが、その分布状況等についての調査は十分ではありません。

県では今年、県民の皆様のご協力を得て、ウミホタルの分布状況等の調査をしたいと考えています。ご自身の採集・観察したウミホタルの情報を、専用レポート等で県庁へご報告いただきましたら、取りまとめて地図上に落とし込むなどの形でインターネットで公開します。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。



図はイメージです。